



2019年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年2月4日

上場会社名 株式会社ぐるなび

上場取引所 東

コード番号 2440 URL <https://corporate.gnavi.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 久保 征一郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 副社長執行役員 管理本部長 (氏名) 飯塚 久夫 TEL 03-3500-9700

四半期報告書提出予定日 2019年2月5日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第3四半期の連結業績(2018年4月1日～2018年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第3四半期	24,513	△9.5	1,124	△71.8	1,148	△71.3	754	△72.2
2018年3月期第3四半期	27,100	△1.0	3,985	△21.0	4,002	△20.9	2,713	△21.6

(注) 包括利益 2019年3月期第3四半期 754百万円 (△72.3%) 2018年3月期第3四半期 2,723百万円 (△20.0%)

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2019年3月期第3四半期	16	13	16	10
2018年3月期第3四半期	58	02	57	89

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円	銭	
2019年3月期第3四半期	23,945		18,722		78.0	399	03	
2018年3月期	25,457		19,186		75.3	409	70	

(参考) 自己資本 2019年3月期第3四半期 18,689百万円 2018年3月期 19,166百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
2018年3月期	—		22.00		22.00	44.00
2019年3月期	—		5.00			
2019年3月期(予想)					8.00	13.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり当期 純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	33,000	△8.9	1,300	△72.6	1,300	△73.0	900	△71.8	19	23

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注)詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

会計方針の変更に関する注記

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期3Q	48,675,100株	2018年3月期	48,675,100株
② 期末自己株式数	2019年3月期3Q	1,839,162株	2018年3月期	1,892,159株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2019年3月期3Q	46,795,671株	2018年3月期3Q	46,767,506株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(追加情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間のわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に緩やかな景気回復基調が続きました。当社サービスの対象である外食産業においては、客単価の上昇により売上高は前年を上回る月が続きましたが、食材価格の高騰や労働需給の逼迫等、経営環境には厳しさも見られます。

当社におきましては、飲食店の人手不足を背景とした販売促進に対する慎重姿勢の高まりや消費者行動の変化に伴う販売促進手段の多様化等の影響を受け、前期において飲食店向け販促サービスの大幅な減解約及び低調な受注が続いたことから、今期より、以下のようにユーザーアプローチ手法の拡充、飲食店の人手不足解消に資する業務支援の強化、そして1,000人のサポート体制による飲食店経営者との対話と経営全般に関する総合的な提案の強化に取り組み、第3四半期には受注や減解約の状況に改善が見られました。

ユーザーアプローチ手法の拡充に係る施策として、自社メディアにおける予約サービス強化に取り組み、7月に資本業務提携契約を締結した楽天株式会社との協業のもと10月より開始した会員ID連携や「楽天スーパーポイント」の付与、ネット予約の利用促進に向けた忘新年会キャンペーンが奏功し、ぐるなび会員及びネット予約件数が拡大しております。また「ぐるなびアプリ」に、来店直前に空席のある飲食店を検索し即予約できる機能を追加いたしました。

当社の持つ、飲食店の特徴や空席状況等の正確性・即時性の高い情報を様々な外部サービスを通じて幅広い消費者へ提供する仕組みの構築にも取り組んでおり、具体的には外部サービスを通じた音声対話等による飲食店検索や予約を可能としたほか、10月より「Instagram」との予約機能連携や「Googleで予約」への予約在庫情報の提供を開始、12月にはスマートニュース株式会社と提携し、ニュースアプリ「SmartNews」において当社加盟飲食店の情報をユーザーに訴求するプッシュ型の広告商品の提供を開始いたしました。

インバウンド分野では、飲食店における訪日外国人の受入態勢整備や需要取り込みを包括的に支援するインバウンド加盟プラン・サービスの提供を着実に進めているほか、訪日外国人に向けた情報発信を強化すべく、7月に訪日外国人向け観光情報サービス「LIVE JAPAN PERFECT GUIDE HOKKAIDO」を開始、10月には、台湾、香港において多くのユーザーを擁する日本観光情報サイト「樂吃購（ラーチーゴー）！日本」における記事広告商品の提供を開始する等、サービス・商品の拡充に取り組んでおります。

人手不足解消に資する業務支援の強化に係る施策として、まず飲食店の店内業務ICT化支援に注力しており、8月にマルチ決済サービス「ぐるなびPay」を刷新しクレジットカード決済のほか中国2大モバイル決済サービスへの対応を開始、9月には「ぐるなび台帳」の機能拡張を実施いたしました。また「ぐるなび」店舗ページやSNSをはじめとした外部メディアの運用、電話やネットによる予約の受付・管理を、飲食店に代わって実施する業務代行サービスの拡充に取り組んだほか、協業先との連携により従業員の育成を支援する商品を全国の加盟飲食店に向け提供開始する等、着実に支援領域の拡大を進めております。

当社の強みである1,000人のサポート体制は、飲食店経営者に対し販売促進に留まらず飲食店経営全般に関わる情報収集や提案を強化し、収集した成功事例や経営ノウハウ、マーケティングデータの活用に取り組んでおります。

当社の当第3四半期連結累計期間の業績は以下のとおりであります。

連結売上高は前年同期比9.5%減少し、24,513百万円となり、事業区分別には、下表のとおりであります。

区分		前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	対前年 同四半期 増減率 (%)
		金額(千円)	金額(千円)	
基盤事業	飲食店販促サービス			
	ストック型サービス	22,308,726	19,581,182	△12.2
	スポット型サービス	2,513,083	2,609,261	+3.8
	小計	24,821,810	22,190,444	△10.6
	プロモーション	615,216	641,425	+4.3
	小計	25,437,026	22,831,870	△10.2
	関連事業	1,663,088	1,681,714	+1.1
	合計	27,100,115	24,513,584	△9.5

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

飲食店販促サービスのうちストック型サービスの売上高は、業務代行サービスをはじめとした新たな支援サービスの利用が着実に増加したものの、第2四半期までに受注を上回る減解約が発生したことから売上が積み上がりず前年同期を下回りました。またスポット型サービスの売上高は、ネット予約件数の拡大に伴う手数料売上の増加が販促サービス商品等の売上減少を補ったことにより前年同期を上回りました。

費用面においては、売上原価は店内業務ICT化ツールの導入拡大に伴う機器の仕入れ・運用コスト等の増加、業務代行サービスに係る外部メディアの運用費用の発生を主因に前年同期比3.7%増の7,625百万円となりました。販売費及び一般管理費については、ぐるなび会員拡大・ネット予約促進のためのキャンペーン等による広告宣伝費及びポイント費用の増加、一部オフィス移転に伴う家賃の増加はありましたが、その他の分野において費用削減や効率的投下に努めたこと等により、前年同期並みの15,763百万円となりました。

以上の結果、利益については営業利益1,124百万円(前年同期比71.8%減)、経常利益1,148百万円(前年同期比71.3%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益754百万円(前年同期比72.2%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

財政状態

当第3四半期連結会計期間末の総資産については、前連結会計年度末と比べ1,512百万円減少し、23,945百万円となりました。主な増減内訳は、現金及び預金1,028百万円の減少、ソフトウェア648百万円の減少であります。

負債については、前連結会計年度末と比べ1,048百万円減少し、5,222百万円となりました。主な増減内訳は、未払法人税等828百万円の減少、賞与引当金279百万円の減少であります。

純資産については、前連結会計年度末と比べ464百万円減少し、18,722百万円となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益の計上754百万円(増加要因)、剰余金の配当1,263百万円(減少要因)によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2018年5月9日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,000,729	6,972,510
受取手形及び売掛金	4,860,540	4,593,503
未収入金	1,764,935	1,859,774
その他	735,242	1,101,631
貸倒引当金	△277,292	△295,937
流動資産合計	15,084,156	14,231,483
固定資産		
有形固定資産	1,108,145	1,104,521
無形固定資産		
ソフトウェア	4,682,174	4,033,339
その他	575,469	363,829
無形固定資産合計	5,257,644	4,397,168
投資その他の資産	4,007,451	4,212,022
固定資産合計	10,373,241	9,713,712
資産合計	25,457,398	23,945,195
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	290,388	167,880
未払法人税等	926,827	98,345
賞与引当金	695,593	416,162
ポイント引当金	358,797	444,699
未払金	2,607,940	2,678,940
その他	1,148,914	1,169,308
流動負債合計	6,028,462	4,975,337
固定負債		
資産除去債務	241,040	246,044
その他	900	900
固定負債合計	241,940	246,944
負債合計	6,270,402	5,222,282
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,334,300	2,334,300
資本剰余金	2,884,780	2,884,780
利益剰余金	18,952,734	18,335,472
自己株式	△5,003,472	△4,863,326
株主資本合計	19,168,342	18,691,226
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△10,708	5,541
為替換算調整勘定	9,199	△7,601
その他の包括利益累計額合計	△1,509	△2,060
新株予約権	20,162	33,746
純資産合計	19,186,995	18,722,913
負債純資産合計	25,457,398	23,945,195

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)
売上高	27,100,115	24,513,584
売上原価	7,356,159	7,625,726
売上総利益	19,743,955	16,887,857
販売費及び一般管理費	15,758,288	15,763,603
営業利益	3,985,667	1,124,254
営業外収益		
助成金収入	6,873	5,378
その他	16,735	19,200
営業外収益合計	23,608	24,578
営業外費用		
為替差損	7,197	821
営業外費用合計	7,197	821
経常利益	4,002,078	1,148,012
特別利益		
関係会社清算益	744	—
新株予約権戻入益	—	7,668
特別利益合計	744	7,668
特別損失		
投資有価証券評価損	—	29,681
特別損失合計	—	29,681
税金等調整前四半期純利益	4,002,823	1,125,998
法人税等	1,289,272	371,299
四半期純利益	2,713,551	754,699
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,713,551	754,699

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)
四半期純利益	2,713,551	754,699
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,511	16,250
為替換算調整勘定	4,924	△16,801
その他の包括利益合計	10,435	△550
四半期包括利益	2,723,986	754,149
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,723,986	754,149

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、一部の連結会社において当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。